

【事業概要】 JFA こころのプロジェクト MIRAI へつなく「夢の教室」 in 豊田

(1) 「夢の教室」

夢の教室は、「子どもたちの心身の成長に寄与したい」という主旨で、(公財)日本サッカー協会(JFA)が平成18年に立ち上げたプロジェクトです。サッカーの現役、OB/OGに限らず、多種目の現役アスリートやそのOB/OGの力を得て、彼らを「夢先生」として小学5年生の授業に派遣し、「夢の教室」と呼ばれる授業を行います。この教室は体育の授業ではなく、夢先生が、「夢を持つことの素晴らしさ、それに向かって努力することの大切さ」、「仲間と助け合うことの大切さ、相手を思いやること」等について伝えることを目的とし、全国約170の自治体で開催しています。

(2) 全国初 産学官四者連携による実施体制

豊田市では、多くのトップアスリートが、中京大学やトヨタ自動車(株)をはじめとする学校法人や企業、団体に所属しています。この特徴を活かし、JFAが全国で展開する「夢の教室」をベースとし、JFAから派遣されるアスリートに加え、中京大学やトヨタ自動車(株)等に所属するアスリート・パラアスリート、そして市内企業に従事する社会人や消防士らを「夢先生」として派遣することで、独自の協力体制を構築しました。本事業は、平成26年度に市内小学校3校10クラスでスタートし、平成27年度からは中京大学・トヨタ自動車(株)・JFAとの全国初の産学官四者による連携体制となり、『JFA こころのプロジェクト MIRAI へつなく「夢の教室」 in 豊田』として実施しています。

※本年度は59校109クラスで実施します。



(3) 【事業概要】 豊田市わがまちアスリート及び豊田市わがまちアスリートファミリー

オリンピック・パラリンピック等の国際的な大会に挑戦している、豊田市にゆかりのある有力アスリートを「豊田市わがまちアスリート」として認定し、市民が一体となって応援しています。

現役引退をした「豊田市わがまちアスリート」のうち、引続き市民のスポーツへの関心を高め、する・楽しむ・支えるスポーツの推進を図ることにご協力いただける方を「豊田市わがまちアスリートファミリー」として認定しています。

- ・豊田市わがまちアスリート 43人(令和4年4月1日時点)

＜主な認定選手＞

羽根田卓也選手(カヌー)、姫野和樹選手(ラグビー)、宇野昌磨選手(フィギュアスケート)、紀平梨花選手(フィギュアスケート)、後藤希友選手(ソフトボール)ほか

- ・豊田市わがまちアスリートファミリー 7人(令和4年4月1日時点)

＜主な認定選手＞

市川華菜氏(陸上)、峰幸代氏(ソフトボール)、渥美万奈氏(ソフトボール)ほか